令和元年度

参加者募集　参加無料

シーズ・研究内容紹介

「シーズ・研究内容紹介」では、高知県内５つの高等教育機関（**高知県立大学、高知工科大学、高知大学、高知学園短期大学、高知工業高等専門学校**）等が持ち回りで、研究内容や取組等を紹介します。

★**水曜日18:30-20:00**（2,3週間に1回程度の頻度で開催）
★**定員36名**
★**どなたでも参加可能**

新しいビジネスの種（シーズ）や、研究機関との交流の機会をお探しの皆さま、ぜひご参加ください！

＜開催場所＞
高知県産学官民連携センター「ココプラ」　交流スペース
高知県立大学・高知工科大学永国寺キャンパス　地域連携棟１階
（〒780-8515　高知市永国寺町6-28）

＜申込方法＞
FAXもしくは「ココプラ」ホームページよりお申し込みください。
https://www.kocopla.jp/
「ココプラの取組み」の「シーズ・研究内容紹介」をクリック
→参加希望のイベントを選んでください。

＜申込締切＞
各開催日の２日前の月曜日
※当日参加も可能ですが、申し込みされた方を優先させていただきます。

「ココプラ」ホームページ
ＱＲコードはこちら →

＜問合せ先＞　高知県産学官民連携センター「ココプラ」
TEL　088-821-7111　E-MAIL　info@kocopla.jp

『シーズ・研究内容紹介』FAX用申込用紙

参加を希望する回	・第　回（　月　日開催）・第　回（　月　日開催） ・第　回（　月　日開催）・第　回（　月　日開催）		
フリガナ 氏　名		所　属	
メールアドレス		電話番号	

2019/06/11

※いただいた個人情報は、当該事業および県の産業振興計画に関する情報提供以外には使用いたしません。

FAX:088-821-7112

飛躍への挑戦！高知県産業振興計画　高知家　ココプラ 高知県産学官民連携センター

第１回
5/15(水)
18:30～

高知大学
地域協働学部地域協働学科
藤岡　正樹　講師

戦略的ＢＣＰが もたらす企業価値

【テーマ概要】
企業の防災対策にはコストが掛かります。この時間的、金銭的コストは中小零細企業にとっては致命傷と考えられ、積極的なBCP導入には至っていません。そこで、BCPを小さなWin-Winを生みだす収益構造の集合体として捕らえ直すことからはじめます。闇雲に防災対策を行うのではなく、その企業の身の丈にあったBCPを戦略的に進めることで、積極的に企業価値を高めることができます。

第２回
5/29(水)
18:30～

高知工科大学
環境理工学群／総合研究所
物質創成工学研究センター
伊藤 亮孝　講師

光と分子で 織りなす科学 ～新規光機能材料の開発～

【テーマ概要】
物質が可視光を吸収・放出すると、私たちには色がついたり光って視えます。この様な物質による光の吸収や放出についてよく知ることで、望みの色あいや強さ（濃さ）をもつ色素や有機ELなどの発光デバイスを創り出すことができます。さらに光吸収をきっかけとして何らかの反応をうまく起こしてやると、太陽電池や人工的な光合成反応といった吸収した光エネルギーの別種のエネルギーへと変換するシステムなどに利用できます。
本発表では、私たちが取り組んでいる様々な光吸収・発光物質や、「目に視える」という特徴を活かした新しい機能材料の開発について紹介します。

第３回
6/5(水)
18:30～

高知県立大学
文化学部
溜　和敏　准教授

インドが見る世界の秩序 ー国際関係論のポスト実証 アプローチ

【テーマ概要】
「インドはC国と対立するから、同じくC国と問題を抱えるJ国やV国と手を結ぶのだ」。国際関係論のリアリズムによるオーソドックスな説明です。本発表ではこうした説明ではなく、インドが世界の秩序をどのように認識しているのか理解することを試みます。説明と理解は相反しません。国際秩序認識の分析は、近年盛んな研究動向で（リバイバル）、国際関係論におけるポスト実証主義からのアプローチのひとつです。

第４回
7/3(水)
18:30～

高知学園短期大学
医療衛生学科 歯科衛生専攻
坂本　まゆみ　准教授

健口で予防する オーラルフレイル

【テーマ概要】
昨年のシーズ・研究内容紹介では、「健口で予防するサルコペニア（筋肉量の減少）」についてお話しました。
今回は、口腔の働きや機能向上について、皆さんにも気づいていただきたいと思います。日常生活でできる支援や周囲の方と行えるトレーニングなどを実際に体感して頂ける内容をご紹介します。
歯や口のお手入れはもちろんのこと、口腔機能や咀嚼機能を向上させ、皆さんが高齢期を迎えた際、「口から安全に安心して楽しく食べる」ためにも、栄養吸収の入口である口の働きを、日々の暮らしのなかで少し意識してみませんか？

第５回
7/17(水)
18:30～

高知大学
農林海洋科学部海洋資源科学科
長谷川　拓哉　助教

無機蛍光体材料の これまでとこれから

【テーマ概要】
蛍光体は、紫外線などの外部エネルギーを可視光などの光として変換する材料です。古くから蛍光体は、ブラウン管や蛍光ランプなどの照明やディスプレイ、最近では、白色LED用といった様々な発光材料として重要な役割を担ってきました。本発表では、蛍光体材料のこれまでの実用例と、蛍光体が今後どのように利用されていくか、また、研究がどのように発展していくかについて紹介します。

第６回
8/28(水)
18:30～

高知工科大学
経済・マネジメント学群
上村　浩　准教授

日本企業のコーポレート・ガバナンスの在り方に関する一考察 (コーポレート・ガバナンス研究からの示唆)

【テーマ概要】
企業の会計不正が表面化する現在、わが国企業のコーポレート・ガバナンス（CG）の在り方について様々な議論が展開されています。例えば「日本再興戦略(2014)」では、CGの強化により経営者のマインドを変革する必要性が主張され、また2015年6月には「日本版コーポレート・ガバナンス・コード」も公表されています。これらを前提に、本報告ではCGに関連する研究結果に基づいて、わが国企業のCGの在り方について検討します。

第７回
9/11(水)
18:30～

高知工業高等専門学校
佐藤 元紀　講師

高知県の近代文学の系譜と地域資源としての文学

【テーマ概要】
　高知県は文学的土壌が非常に豊かな土地です。特に近代文学の領域においては、寺田寅彦が有名であり、繊細で美しい随筆は未だに多くの読者を獲得しています。寅彦の随筆に感銘を受けながら、詩の領域で自らの創作を花開かせたのが岡本弥太でした。詩集『瀧』は同時代における評価も高く、それを読んだ大原富枝の創作にも大きな影響を与えています。そうした高知県における近代文学の系譜を紐解いてみたいと考えています。
　その上で、文学作品を地域資源という観点で捉え直し、まちあるきと併せて活用する事例もご紹介いたします。

第８回
9/18(水)
18:30～

高知県立大学
社会福祉学部
加藤　由衣　講師

子どもと家庭を支える スクールソーシャルワーク ～高知県の福祉課題と実践方法～

【テーマ概要】
　現在、不登校や虐待、貧困、いじめなど、さまざまな生きづらさを抱えた子どもがおり、高知県でも大きな課題となっています。そうした子どもや家庭を支援するスクールソーシャルワーカーという専門職をご存知でしょうか？
　スクールソーシャルワーカーは、学校現場で子どもと子どもを取り巻く環境に着目し、子どもたちの生活を支援する社会福祉専門職です。本研究紹介では、高知県内の子どもに関する福祉課題の現状とスクールソーシャルワークの実践方法を、理論と実践の両面から紹介します。

第９回
10/2(水)
18:30～

高知工業高等専門学校
ソーシャルデザイン工学科
松浦　真衣子　准教授

ギリシャの言語的少数者 ヴラーフから見る「民族」

【テーマ概要】
　現代のギリシャではギリシャ語が公用語とされていますが、長い歴史の中でヴラフ語話者が多数存在します。ギリシャではヴラフ語話者は「一民族」として認められていないし、公教育におけるヴラフ語の授業も行われていません。しかし、地域や父祖の文化としてヴラフ語を保持していこうという組織も存在します。ヴラフ語話者の歴史や現状を考察することで、言語的マイノリティとは何か、また言語的マイノリティの権利を認めるということはどのようなことなのかを考えます。

第10回
10/16(水)
18:30～

高知学園短期大学

COMING SOON！

※詳細が確定次第、順次ホームページ等でお知らせします。

第11回
10/30(水)
18:30～

高知県立紙産業技術センター
加工技術課
森澤　純　チーフ

異物分析は「観察」と「分類」の科学だ（異物分析概論）

【テーマ概要】
　紙・不織布製品は、幅広い分野で使用されており、私たちの生活の中で不可欠な存在になっています。紙・不織布製品の異物混入による不良品の発生は、皆様にとって頭を痛めることであると思います。
　当センターでは、県内の企業にとって扱いの難しい異物については依頼試験として分析をお受けして、異物の同定・推定、異物が混入した製造工程の推定等の技術相談に対応しています。
本発表では、その異物分析について紹介します。

※調整中の内容は確定次第、順次ホームページ等で更新します。また、各開催回の詳細は、ホームページに順次掲載します。

第12回
11/20(水)
18:30～

高知大学
理工学部情報科学科
本田　理恵　教授

機械学習による災害につながる気象現象検出の試み

【テーマ概要】
　最近ではコンピュータに問題解決の手法を学習させる”機械学習”の手法が様々な情報システムや製品に取り入れられるようになってきています。中でもディープラーニング(深層学習）が特に注目を集めていますが、今回はこれに限らない機械学習の世界を概観的に紹介します。
　また当研究室で実施している、災害につながる気象現象検出への機械学習の適用例として、ディープラーニングによる気象監視カメラ画像からの竜巻（漏斗雲）抽出、混合分布によるレーダ画像からの局地的豪雨をもたらす雨雲の抽出などの試みなどを紹介します。

第13回
12/11(水)
18:30～

高知工科大学
システム工学群 電子系
田上 周路　准教授

光を使って磁界を観る

【テーマ概要】
　磁界は磁石からだけでなく電流などからも発生しており、人の目で直接見ることはできません。我々の研究では、レーザ光とアルカリ金属を使うことで磁界の測定を行っています。また、磁界の空間分布を画像化できる装置を開発し、磁界の発生源の位置を特定できるシステムの構築に取り組んでいます。このシステムは電子回路の評価からガンの発見といった多くの分野への応用が期待できます。

第14回
1/15(水)
18:30～

高知県立大学
看護学部
内田　雅子　教授

地域の連携・協働による生活習慣病の重症化予防

【テーマ概要】
　高知県は全国に比べて男性の壮年期死亡率が高く、特に生活習慣病の重症化予防が課題となっています。その背景に、零細・中小企業が多い産業構造や文化的慣習など社会的決定要因の影響があります。生活習慣病は当事者の自己管理や個別の看護支援では限界が大きく、行政-地域産業-保健医療福祉機関-教育研究機関の各セクターを超えた地域住民-実務家-教育研究者-連携・協働の体制づくりと人材育成が必要不可欠です。

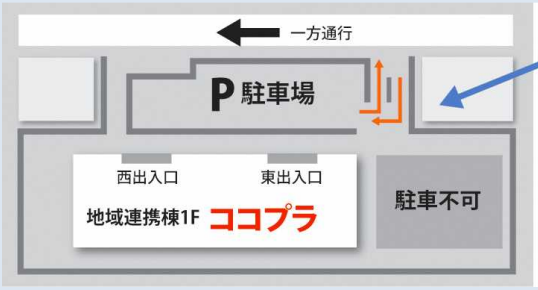
第15回
2/5(水)
18:30～

高知工業高等専門学校
ソーシャルデザイン工学科
翁長　志保子　講師

80年代沖縄における女性作家の活躍

【テーマ概要】
　沖縄近現代文学のなかでは、８０年代は「女性作家の時代」と呼ばれています。８０年代に突入するまでにも、さまざまな活動の場がありましたが、女性作家活躍することは、ほとんどありませんでした。「８０年代とはどのような文学的状況だったのか」ということについて、当時の時代背景を踏まえつつ、雑誌や同人誌などの刊行物を読みながら、お話しします。

＜会場までのアクセス＞

［公共交通機関をご利用の場合］
- JR高知駅から徒歩15分
- とさでん交通大橋通電停、バス停から徒歩7分

［駐車場］
- 会場併設の駐車場（無料）をご利用いただけますが、数に限りがあります(約30台)。満車の場合は、周辺の有料駐車場をご利用くださいますようお願いします。